

自閉スペクトラム症のある大学生への就労支援 —学内インターンシップの効果の検討—

執筆者

北添紀子・平野晋吾・寺田信一・泉本雄司・是永かな子・上田規人・玉里恵美子

概要

【目的】

自閉スペクトラム症（ASD）のある大学生への就労支援として、大学生協でインターンシップを行い、その効果を検討した。

【対象と方法】

インターンシップは ASD の特性に配慮して支援を行った。参加者は ASD のある学生には限定していないが、ASD の疑われる学生 13 名の分析を行った。質問紙は、the Autism-Spectrum Quotient (AQ)、ローゼンバーグ自尊感情尺度、職業レディネス・テストなどを用い、インターンシップに関する半構造化面接を実施した。

【結果】

13 名中 11 名の学生が体験を肯定的にとらえていた。インターンシップ後に 1 名が就職、4 名がアルバイトを開始、4 名が地域障害者職業センターを利用した。インターンシップ体験後は就職に対する不安は 8 名が減少した。ローゼンバーグ自尊感情尺度は、インターンシップ後はインターンシップ前に比べ有意に上昇した。

【考察】

インターンシップは成功体験となり、自信が持てたと考えられる。また、自己理解を深めるきっかけとなったと考えられる。